



(今週のメニュー)

1. 「グッドぐんまの旬の市」通信について (管理部 企画開発課)
2. 園芸販売課情報 青果物の市場概況 (園芸部 園芸販売課)
3. 系統パイプハウス補償制度の推進について (別添) (園芸部 園芸資材課)
4. 水稲用一発処理除草剤「バッチリ」の紹介 (別添) (生産資材部 肥料農薬課)
5. 気象情報 (営農総合支援センター)

1 「グッドぐんまの旬の市」通信について

(発信部署：管理部 企画開発課)

内 容：

東京・浅草の「グッドぐんまの旬の市」より、イベント情報についてお知らせします。

2013/5/1 No.61

「グッドぐんまの旬の市」通信

○旬の市 イベント案内○

開催日	イベント名	内 容
5月3日(金) ~6日(月)	G・W高崎ハム・エコープフェア	ハム・ウィンナー、漬物の素他試食販売
5月11日(土)	JA太田市新鮮野菜フェア	小玉スイカ・トマト・ヤマト芋他試食販売
5月18日(土) 19日(日)	JAたかさき三社まつりフェア	さとのそらの焼きそば販売、地酒フェア同時開催
5月25日(土) 26日(日)	JA上野村特産物フェア	味噌・ジュース他試食販売

* 予告無く変更される場合があります。ご了承ください。

○ 浅草の行事

開催日	行事名	内 容
5月17日~19日	浅草三社祭	町内神輿連合渡御、本社神輿の一之宮・二之宮・三之宮の宮出し。1トンを超える本社神輿が渡御する様はまさに圧巻。浅草は祭り一色。

平成25年度「グッドぐんまの旬の市」の営業について

1. 宿泊施設(ビジネスホテル旬の市)の廃止について
 - ①平成19年3月、群馬県農産物の販売イベント等を通じて大消費地の消費者にPRする拠点として「グッドぐんまの旬の市」を取得し、3階から5階までを宿泊施設として改修し、同年11月にオープン致しました。
 - ②しかしながら、平成24年8月の監事監査において、宿泊業務について本会定款上の「販売事業の付帯事業」としてみなせるか疑義が生じ、「付帯事業としては好ましくない」との見解を得ました。
 - ③そのため、平成25年3月31日をもって宿泊施設を廃止致します。
2. 定休日の設定について
 - ①平成19年3月より年中無休体制で店舗営業を行っていましたが、昨今の観光客の動向変化に伴い、平成25年度より**毎週木曜日を定休日**と致します。

* なお、木曜日が祝祭日の場合は通常営業と致します。

●お問い合わせ先 「グッドぐんまの旬の市」
TEL. 03-3844-0830
FAX. 03-3844-0837
〒111-0032 東京都台東区浅草1-34-4

●アクセス
電 車：東武伊勢崎線「浅草駅」……徒歩3分
地 下 鉄：①東京メトロ銀座線「浅草駅」……徒歩3分
☆銀座線上野駅~3分、銀座駅~15分
②都営浅草線「浅草駅」……徒歩5分
車：首都高速6号線「向島ランプ」
☆雷門前地下駐車場……徒歩5分
水上バス：東京都観光汽船「浅草」……徒歩5分
☆お台場直通ラインあり

2

園芸販売課情報 青果物の市場概況

(発信部署：園芸部 園芸販売課)

内 容：

品 名	4月15日～4月20日		4月22日～4月27日	
	高値	安値	高値	安値
ほうれん草 (200g) 袋	179	74	168	110
ふ き (4kg) DB	1,365	735	1,575	630
山 う ど (2kg) DB	1,260	368	1,313	368
に ら (100g) 束	37	16	37	21
き ゆ う り (5kg) DB	2,310	420	2,100	420
な す (400g) 袋	210	126	189	126
ト マ ト (4kg) DB	2,100	735	1,680	420
ミニトマト (200g) パック	137	84	105	74
い ち ご (300g) パック	410	84	399	84
小玉すいか (6玉) DB	4,725	1,575	4,725	1,575

3

系統パイプハウス補償制度の推進について (別添)

(発信部署：園芸部 園芸資材課)

内 容：

全国農業協同組合を通じてパイプハウスメーカー(JA全農ぐんまが指定するメーカー)が施工・販売したパイプハウス・エコノミーハウスについて、引渡後3年間の補償が受けられます。

詳細は別添資料をご覧ください。

お問い合わせ先

全農群馬県本部 園芸部 園芸資材課まで Tel.027-220-2291

4

肥料農薬課情報 水稲用一発処理除草剤「バッチリ」の紹介 (別添)

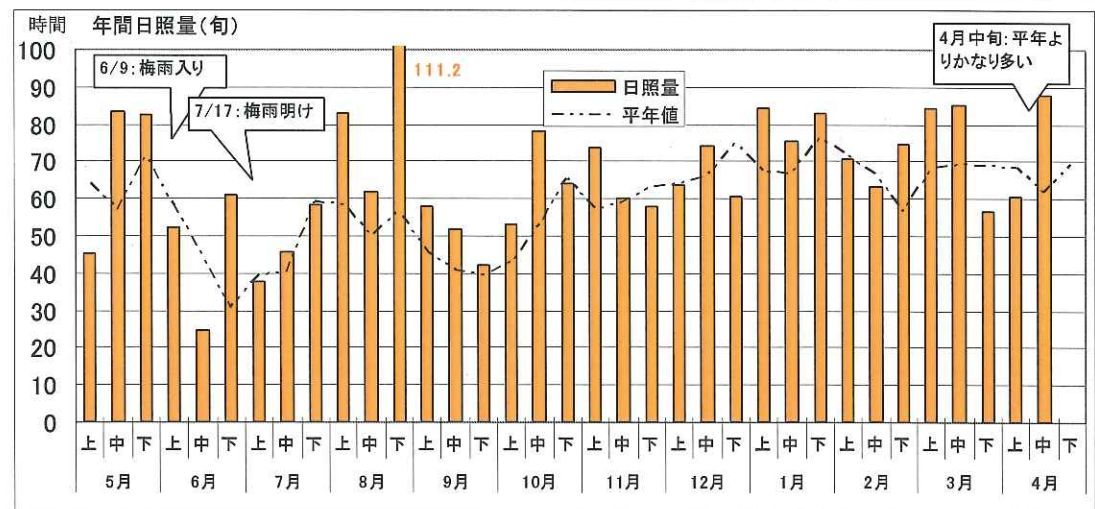
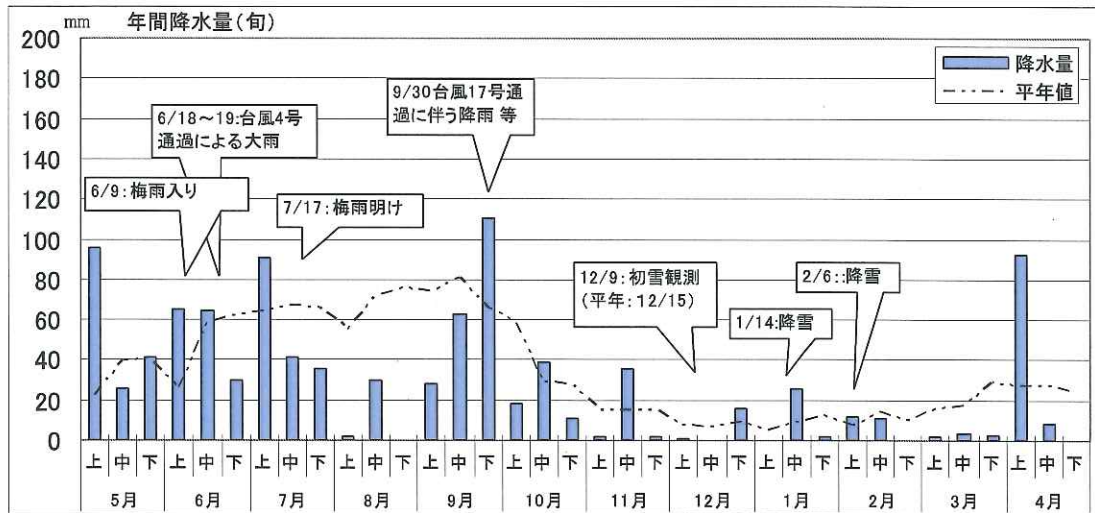
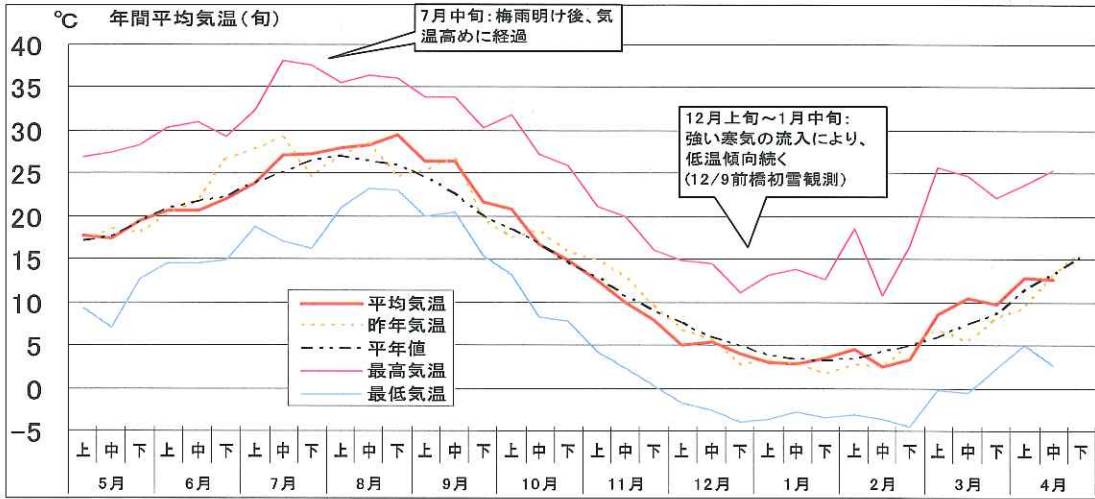
(発信部署：生産資材部 肥料農薬課)

内 容：

詳細は別添資料(製品リーフレット)をご覧ください。

(発信部署：営農総合支援センター)

内 容：気象経過（前橋気象台 標高112m）



【編集後記】

今号より、「営農経済トピック」の担当が新入職員の佐藤に代わることになりました。概ね3年ほど担当をさせていただき、皆様には大変お世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。私ごとではありますが、読者の方から「トピック、毎週読んでるよー！」とお声をかけていただく度に、業務への励みになっておりました。

今後はサブ担当として、佐藤と共に「営農経済トピック」の充実に努めて参りたいと思います。引き続き、トピックをよろしく願い申し上げます。(担当：高橋)

今号から営農経済トピックを担当させていただくことになりました佐藤裕紀と申します。社会人としてのスタートを切った4月も慌ただしく過ぎ去り、早くも最終日となってしまいました。まだまだ緊張の日々の連続ですが、体調管理に気をつけながら頑張っていきたいと思います。今後とも営農経済トピックをよろしく願いします。(担当：佐藤)

営農総合支援センター 生産振興課

(TEL:027-220-2255 FAX:027-220-2024)

知っていますか？

JAグループのパイプハウスには
「大きな安心」がついていることを。

パイプハウスを長く使用していると、

思わぬ被害や損害に

見舞われることがあります。

想定外の自然災害など、

もはや他人事ではありません。

まさか、うちのパイプハウスが…

なんてことになる前に。

JAグループのパイプハウスは
3年間の補償付き。

あなたの「笑顔」も一緒に守ります。



3年補償

系統パイプハウス補償制度（動産総合保険）

火災 落雷 破裂・爆発 風災

ひょう災 雪災 台風・暴風雨等による洪水等の水災

上記のような損害など、パイプハウスに発生した偶発的な事故による損害について補償します。
※事故の概要によっては補償の対象とならない場合もあります。詳細については、下記連絡先にお問い合わせください。

詳しくは、最寄りJAまたは全農にお問い合わせください。

系統パイプハウス補償制度(動産総合保険)について



本制度は、施設園芸生産者が安心して施設栽培を継続してもらうことを目的として、全農が県連・県 JA・JA を通じて供給するパイプハウスについて、引き渡した後3年間の補償を行う商品付帯型のサービスです。

この制度の導入で、施工引渡し後の3年間に発生する火災・風災・雪災・水災等のパイプハウスに関するさまざまなリスクに対し、補償が可能となりました。

この補償制度の対象は

組合員等の施主の方が購入された全農の供給するパイプハウスとなります。

※全農が指定するメーカーが施工した物件のみ対象です。

※パイプハウスメーカーが施工せず、施主の方自らが施工した物件は対象外です。

※パイプハウスと同一工事で施工された場合は、付属設備も含まれます。

補償の対象

《保険金をお支払いする場合》

パイプハウスに発生した以下の偶然な事故による損害について保険金をお支払いします。

- ・火災、落雷、破裂・爆発、風災、ひょう災、雪災
(※認定損害額が10万円以上の場合にお支払いします。)
 - ・台風・暴風雨等による洪水等の水災による損害
(保険価額の2%相当額が自己負担額となります。)
- ※その他偶然な事故による損害について保険金をお支払いします。

《保険金をお支払いできない主な場合》

- ・保険契約者、被保険者(保険の補償を受けられる方)、保険金受取人などの故意もしくは重大な過失または法令違反による損害
- ・盗難による損害
- ・保険の対象の自然消耗、欠陥、カビ・さび・変色その他類似の事由またはネズミ食いもしくは虫食い等による損害
- ・保険の対象(パイプハウス)に加工を施した場合、加工着手後に生じた損害
- ・戦争、内乱による損害、核燃料物質によって汚染された物の放射性その他の有害な特性に起因する損害
- ・地震もしくは噴火またはこれらによる津波による損害(地震・噴火・津波に起因する水災もお支払いできません。)など

補償金額(保険金額)・お支払いする保険金について

補償金額(保険金額)は、パイプハウスの販売価格に対し、引渡後の経過年数に応じて以下の金額となります。

経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年まで
補償金額(保険金額)	販売価格の100%	販売価格の90%	販売価格の80%

※補償金額(保険金額)は、事故が起きた際に支払われる保険金の上限額であり、事故時の支払保険金とは異なります。

$$\text{損害保険金} = (\text{認定損害額} - \text{自己負担額}) \times \text{縮小支払割合} 70\%$$

- ※1 縮小支払割合70%を設定しております。
- ※2 認定損害額は、実際の損害の内、引受保険会社が認めたものをいい、損害額の認定は時価で算出されます。
- ※3 台風・暴風雨等による洪水等の水災による損害について、保険価額の2%相当額が自己負担額となります。
- ※4 1回の事故で保険金の支払額(縮小支払割合を乗じる前の額)が補償金額(保険金額)の80%を超えたときは、その保険金支払の原因となった損害発生時で、補償は終了します。保険金の支払額が補償金額(保険金額)の80%を超えない限り、補償金額(保険金額)は自動的に復元し減額されることはありません。

臨時費用保険金

損害保険金をお支払いする場合において、損害を受けたために臨時に生じる費用に対して、損害保険金の30%(1事故300万円限度)を臨時費用保険金としてお支払いします

残存物取片づけ費用保険金

損害保険金をお支払いする場合において、保険の対象の残存物の取片づけに必要な費用(取りこわし費用、搬出費用等)に対して、損害保険金の10%の範囲内で実際に支出された費用を残存物取片づけ費用保険金としてお支払いします。

※施主(被保険者)自らが、別途保険料等の負担をしていただくことはありません。
※引受承認番号: B1220132A1966-20130306 (平成25年3月)

詳しくは **全農生産資材部資材課**
TEL **03-6271-8322**
お問い合わせください。

JA全農ぐんま 園芸部園芸資材課
TEL 027-220-2291

全農

JA | JA全農グループ

引受保険会社名
共栄火災海上保険株式会社

皆さまのおかげで

2年連続

第1位

普及面積178,717^{ヘクタール}

水稲用一発処理除草剤 平成24年度 全国普及面積第1位 2011.10~2012.6 日農調調べ
(平成23年度 全国普及面積第1位 (188,191ha) 2010.10~2011.6 日農調調べ)

今、日本で一番使われている
水稲用一発処理除草剤

バツテリ

1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ



田植同時処理

OK!



ピラクロキシル配合



**SU抵抗性雑草、
難防除雑草に優れた効果!!**

田植同時処理にも対応!!
ジャンボ剤は移植後〜ノビエ2.5葉期の登録です



オモダカ



コナギ



ホタルイ



クロゴイ



コウキヤガラ



3剤型とも直播水稲で使用可能!
(1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ)

水口施用も可能!
(フロアブル)



低コストの大型包装も充実!
(1キロ粒剤:10kg フロアブル:2ℓ×6)

無人ヘリコプター散布も可能!
(1キロ粒剤)



特長

- 新規成分 **ピラクロニル**を含有し、**ノビエ**を始めとして一年生雑草、多年生雑草まで幅広く高い効果を示す。
- 田植同時処理も可能**。*1キロ粒剤、フロアブル
- SU抵抗性雑草にも高い効果を示す**。
- 効果の発現が非常に速い**。
- 温度による効果の変動が少ない**。

適用雑草の範囲及び使用方法

パッチリ 1キロ粒剤 ■有効成分(一般名)ピラクロニル：2.0% イマズスフロロン：0.9% プロモプロチド：9.0% ■人畜毒性：普通物* 登録番号 第22148号

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10a当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	イマズスフロロンを含む農薬の総使用回数	プロモプロチドを含む農薬の総使用回数	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ クロクワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北・関東・東山・東海、九州) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離(九州を除く)	移植時	砂壌土 ～ 埴土	1kg	1回	田植同時 散布機で 施用	2回以内	2回以内	2回以内	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで				海水散布 又は 無人 ヘリコプター による散布				
直播水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	イネ出芽始～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	埴土 ～ 埴土	1kg	1回	原液 灌水散布	2回以内	2回以内	2回以内	全域
		イネ出芽前～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	砂壌土							

パッチリフロアブル ■有効成分(一般名)ピラクロニル：3.7% イマズスフロロン：1.7% プロモプロチド：16.3% ■人畜毒性：普通物* 登録番号 第22149号

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10a当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	イマズスフロロンを含む農薬の総使用回数	プロモプロチドを含む農薬の総使用回数	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北、九州) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ クロクワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北・関東・東山・東海、九州) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離(北陸、九州を除く)	移植時	砂壌土 ～ 埴土	500ml	1回	田植同時 散布機で 施用	2回以内	2回以内	2回以内	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで				原液 灌水散布 又は 水口施用				
直播水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	イネ出芽始～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで				原液 灌水散布				全域

パッチリジャンボ ■有効成分(一般名)ピラクロニル：5.0% イマズスフロロン：2.25% プロモプロチド：22.5% ■人畜毒性：普通物* 登録番号 第22287号

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	イマズスフロロンを含む農薬の総使用回数	プロモプロチドを含む農薬の総使用回数	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北、九州) ミスガヤツリ(北海道を除く) ウリカワ、ヒルムシロ セリ(北陸を除く) オモダカ クロクワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(関東・東山・東海、九州) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離(九州)	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	砂壌土 ～ 埴土	小包装(バック) 10個 (400g) /10a	1回	水田に 小包装(バック) のまま 投げ入れる	2回以内	2回以内	2回以内	全域の 普通期及び 早期栽培地帯
		イネ1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで								
直播水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	イネ1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで								全域

使用上の注意事項

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

3製剤に共通する注意事項

- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布するよう注意してください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では葉害を生ずる恐れがあるので注意してください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けは丁寧にしてください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧にしてください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(軟水深20cm/日以上)では、葉害を生ずる恐れがあるので使用しないでください。
- 田植前に生育したミスガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 暑い降雨が予想される場合は除草効果が低下する恐れがあるので散布を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育時に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 移植水稲を栽培した後にいくさを栽培する水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。

1キロ粒剤の注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使い切ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお多年生雑草は生育段階によって効果にふれが異なるので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミスガヤツリは2葉期まで(但し直播水稲栽培は発生始期まで)、ヘラオモダカは2葉期まで(但し北海道、東北、九州は発生始期まで)、ウリカワは2葉期まで(但し北海道、東北は発生始期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さないで、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め灌水状態(水深3～5cm)で、均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の灌水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの灌水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の灌水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(バック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 葉や浮き草が多発している水田では、散布が不十分となり部分的な葉害や効果不足を生じることがあるので使用を避けてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破散することがないように注意してください。

フロアブルの注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使い切ってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが異なるので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミスガヤツリは2葉期まで、ヘラオモダカは2葉期まで(但し九州は発生始期まで)、ウリカワは2葉期まで(但し北海道、東北は発生始期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さないで、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の灌水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水がふれ出ないように注意してください。
- 頭に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め灌水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるよう散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は灌水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

ジャンボ剤の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが異なるので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイは2葉期まで、ヘラオモダカは2葉期まで(但し東北は発生始期まで、九州は発生前)、ミスガヤツリは2葉期まで(但し北陸は発生始期まで)、ウリカワは2葉期まで(但し北海道、東北、直播水稲栽培は発生始期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期、オモダカは発生始期まで(但し関東・東山・シズイは発生前～発生始期まで)、クロクワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さないで、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの灌水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の灌水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(バック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 葉や浮き草が多発している水田では、散布が不十分となり部分的な葉害や効果不足を生じることがあるので使用を避けてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破散することがないように注意してください。

本資料の記載内容は2012年9月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届く所に置かないでください。★空袋、空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

